

函館湯の川温泉旅館協同組合
理事長 金道 太朗

はこだて湯の川オンパク開催のお知らせ

函館湯の川温泉旅館共同組合が主幹事となって、本年(平成 18 年)10 月後半から約 2 週間、はこだて湯の川オンパク(仮称「函館オンパク」と略)を開催いたします。

「オンパク」とは、大分県・別府においてすでに 4 年前から 9 回を数える「集客交流事業」別府八湯温泉泊覧会の略称で、小規模のイベント・教室・ガイドツアーなどを 2-3 週間の期間内に延べ 200 回程度開催するもの。回を追うごとに参加者・知名度も増加、地域内の交流・地域活性化に役立っているのみならず新しい「体験型観光」の成功事例のひとつとして、別府の観光事業の再生にも大きな貢献をしています。函館オンパクは別府オンパクでの経験・ノウハウ・システムを継承し、函館の独自性も付け加えて、函館および湯の川温泉の新しい魅力をつくりだす起爆剤としての役割を期待して開催します。

「函館オンパク」のポイントは

湯の川温泉活性化：昨今の旅行形態の変化などに伴い、函館への観光客入りこみ数も停滞、湯の川温泉での宿泊客数もここ数年漸減傾向が定着しています。函館観光が従来型の「夜景、エキゾチックな町並み、海産物メインの食」という「観ること」中心の定番メニューから脱皮し、昨今の新しい潮流「個人・小グループ型・体験・交流嗜好」に対応していくことが必要です。湯の川温泉も、単なる「函館」観光のマス型「宿泊拠点」から脱皮し、エリアの特性と既存施設の有効活用を図らなければ衰退は必至です。昨年から続けてきた「湯の川温泉活性化」の官民合同の懇談会でも「市民が訪れる」「エリアの魅力作り」「情報発信」が大きな課題として提起されました。

イベントの開発と発信：「オンパク」のイベントではまず市民が気軽に「温泉施設」等を利用して「楽しめる」経験を共有できるような各種プログラムの開発を目指します。そこで生まれる賑わい(集客)と「知名度」向上をテコに観光客も参加でき、地元市民とのコミュニケーションもはかれる「交流」事業へと展開を図ります。それらを通じて新しい湯の川の付加価値を高めていくことができます。

市民創発型のイベント：函館市内には、こうした体験型プログラムの企画・実施に意欲をもつ団体・個人の活動のポテンシャルは高く、市民向けの体験教室やエコツアーのような企画も多数実施されています。函館オンパクが開催場所の確保や宣伝効果などで有効なバックアップ態勢を構築し、それら団体・個人と協同して体験型プログラムの開発・実行に大きく寄与することを目指します。

既存の資源の有効活用：湯の川地域の「温泉場」としての魅力作りは大きな課題であり、函館オンパクを通じて、エリア内の名所発掘や新しい散策コースなどの開発を進める必要があります(MAP 作りや、湯の川本の制作など)。また、市内の各種の資源(建物、歴史遺産、産業遺産など)の活用も積極的に進め、市民・観光客の交流・コミュニケーションの場を創出していきます。

第一回 はこだて湯の川オンパクでの目標は

市民に「湯の川は変わった」というプラス・イメージを
「オンパク」の実績とその PR を通じて観光客誘致
プログラムの延べ開催数 140 以上、参加者 2,000 人目標
継続開催へ向けての組織・人脈づくり

なお、本事業の推進にあたり、別府オンパクの実行主体である NPO 法人ハットウオンパク(代表理事 鶴田浩一郎)より「オンパク」の WEB システムの提供、各種運営ノウハウの助言などで多大なご支援・ご協力を頂いています。また本事業には経済産業省「サービス産業創出支援事業」、全国中小企業団体中央会「中小企業組合等活路開拓事業」の支援・助成を受けています。

実施概要

開催時期：平成 18 年 10 月 22 日(日)～11 月 5 日(日) 15 日間

実施内容：期間中、健康、エステ、カルチャー、メンタルケア、交流等のイベント・教室、散策・エコツアーなどを開催。
プログラム総数約 50、開催延べ回数 140 回

実施場所 イベント・教室：湯の川温泉の旅館・ホテル、函館市内諸施設
散策・エコツアー：湯の川、函館市内、函館近郊

実施主体 函館湯の川温泉旅館協同組合(理事長 金道太朗)が主幹事となり、市内諸団体に呼びかけて「はこだて湯の川オンパク」実行委員会を組織し、開催準備・運営にあたります。
実行委員長：刈田真司(函館湯の川温泉旅館協同組合 副理事長：湯の川観光ホテル社長)
事務局長：星野 裕(湯の川温泉活性化懇談会ハード部会長：(有)ビットアンドインク代表)
(以上予定)

連絡先 函館湯の川温泉旅館協同組合
〒042-0932 函館市湯川町 2 丁目 7 番 6 号
TEL 0138-57-8988
FAX 0138-59-2118

